

特集

# 三好市の未来を描く

～ぼくらの「夢プラン」づくり～



**皆**さんは「総合計画」という言葉を聞いたことがありますか。これはわたしたちのまちを将来どんなまちにしていこうかを描いたもので、まちづくりを進めていくための最も基本となる計画です。

今回紹介する「夢プラン」づくりは、この総合計画とまちづくりについて子どもたちの視点で考えるための、公募で集まった23人の「子ども委員会」による4日間にわたる取り組みです。

皆さんも一緒に、わたしたちのまちを「いつか」考えてみましょう。

## 第6次総合計画を知ろう！



夢プランをつくるに当たり、事務局の廣瀬さんから第6次総合計画案について説明を聞く子ども委員会のメンバー。総合計画の目的や歴史、成り立ちなどについて知り、これから「夢プラン」づくりで取り組んでいく内容について学びました。

## A Q 総合計画って何ですか？

総合計画は将来のまちの姿を描いた設計図のようなものです。まちづくりを進めるための最も基本となる計画で、三好町では昭和43年に最初の総合計画がつけられました。総合計画では、目指す将来像を掲げ、プランに沿ってまちの発展のために産業や福祉、環境など幅広い分野でさまざまな事業が行われてきました。例えば、

トヨタ自動車をはじめとする企業の誘致、名鉄豊田線の開通、三好ヶ丘の開発、東名三好インターチェンジの開設、さんさんバスの運行などがそうです。現在の三好のまちは、こうした取り組みの積み重ねで成り立っています。



## A Q 計画の見直しはするの？

時代の変化とともにこれまで4回の計画の見直しを行ってきました(左表参照)。今は第5次総合計画を基にまちづくりが行われています。現在、第6次となる新しい総合計画をつくっていただきますが、これは平成15年の市町村合併協議で単独でのまちづくりを選択したことや、第5次総合計画をつくってから6年が過ぎ人口の伸びが予想を大きく上回ってきたこと、市になった後のことも考えてまちづくりを進める必要があることなどから、新しい総合計画が必要となってきたためです。

## ■三好町総合計画の移り変わり

No.	総合計画・期間	将来像
1	三好町総合計画 昭和43～55年度	—
2	新三好町総合計画 昭和51～60年度	昭和60年をめざして 希望と躍進
3	第3次三好町総合計画 昭和59～70年度	希望に満ち活気あふれる 青年都市
4	第4次三好町総合計画 基本構想： 平成3年～22年度 基本計画： 平成3年～12年度	豊かで調和のとれた かおり高い文化のまち
5	第5次三好町総合計画 基本構想： 平成11年～32年度 基本計画： 平成11年～22年度	ゆとりと活気ある ふれあいのまち
6	第6次三好町総合計画	策定中

## A Q 計画はだれが作るの？

計画案をつくっているのは三好町総合計画審議会「の25人の委員の皆さんです。委員は町民から募集した人や区長会長、NPOの代表者のほか、各分野の専門家などが務めています。

## A Q 総合計画はどのようにできてるの？

計画は基本構想、基本計画、実施計画で成り立ち、段階的に具体的な取り組み内容となります。そのうち基本構想は、町の行政運営の基本的な方向を示し、目指す「まちの将来像」とその実現のための6つの基本目標を掲げています。また第6次総合計画の期間は、平成35年度までを考えています。

## A Q 新しい総合計画の「まちの将来像」と考え方は？

第6次総合計画では、平成35年までに目指すまちの将来像を「みんなで築く『さんさんあい』と『活力』の都市」としていく予定です。将来像の基本的な考え方としては、次の2つがあります。

①水と緑の自然を大切に土地の活用をしていく  
②地域の課題を自分たちで解決していく



◎将来像の実現イメージ

「みんなで築く  
“ささえあい”と  
“活力”の都市」

例えば…

- ・にぎわい拠点づくり
- ・地域や施設の間での交流
- ・次代を担う人材育成
- ・生きがいつくり など

みんなで築く  
住民参加のまち  
づくりの実現

例えば…

- ・町民と行政の対話
- ・情報共有、共通認識
- ・知恵の出し合い
- ・協働の取り組み など

活力

人が育ち、交流で元  
気をつくり、産業も  
活発になるために

+

ささえあい

住み慣れた地域で  
楽しく安心して暮  
らすために

例えば…

- ・災害や犯罪対策
- ・家族や地域の支え合い
- ・高齢者や障害者の安心
- ・子育て世代の支援 など

A 左の図のように将来像の実現を目指します。

Q まちの将来像の実現イメージは？

A 6つの基本目標は何？  
基本構想で次の6つをあげています。

①【環境】

「人と自然が共生した快適な環境」

- ・川や森林、農地などで水や緑を守り育てる
- ・美しい街並みや景観づくり
- ・循環型社会など

②【暮らし】

「健康で生きがいのある暮らし」

- ・高齢者や障害者を地域やみんなで支える仕組み
- ・医療体制の充実
- ・スポーツや文化活動の促進など

③【安全安心】

「安全で安心して住み続けることができる地域」

- ・地域力の向上
- ・地震などの災害や防犯対策の推進
- ・交通施設の整備など

④【魅力】

「魅力ある活力とにぎわいのまち」

- ・中心市街地や駅周辺のにぎわい、交流拠点づくり
- ・農業支援
- ・多文化や外国人との触れ合い、相互理解など

⑤【子育て】

「次代を担う自立した人材」

- ・安心して子育てできる仕組み
- ・地域や学校、家庭の連携
- ・豊かな心と個性、地域性を育てるサポートなど

⑥【自治体経営】

「町民と行政の協働による自立した自治体経営」

- ・町民参加のまちづくり
- ・サービスの向上
- ・健全で自立した財政運営など

「夢プラン」づくりについて事務局の廣瀬さんに話を聞きました。



役場政策推進課課長補佐  
ひろせくにひと  
廣瀬 邦仁さん

▶問い合わせ＝政策推進課  
電話 ☎(32)8005

Q 「夢プラン」づくりの目的は？

A 第6次総合計画をまとめたダイジェスト版をつ

くることになり、それを子どもたちにも分かりやすい内容や表現にしたいと考えました。その方法として取ったのが今回の「夢プラン」づくりです。まず実際に、子どもたちが総合計画の内容を見て、それぞれの目線でまちづくりについて考えてもらい、それぞれの意見を「夢プラン」としてまとめてもらいます。この「夢プラン」で集まった子どもたちの「言葉」をダイジェスト版の中でうまく生かすことで、子どもにも分かりやすいものにしていきます。

Q どうやって進めるのですか？

A 今回の総合計画では、目指すまちの将来像を「みんなで築く“ささえあい”と“活力”の都市」として

ています。「みんなで築く」とは、町民と行政が一緒になってまちづくりを「協働」で進めることです。そこで「夢プラン」づくりをこの協働の取り組みによって進めようと、特定非営利活動法人あいちNPO市民ネットワークセンターに協力をお願いしました。ダイジェスト版ができたら学校などでも利用していただければと思います。





三好ヶ丘駅周辺



## きたよし地区 (町北部)

まちの玄関口となる東名三好インターチェンジや、名鉄豊田線の黒笹駅と三好ヶ丘駅があります。住宅開発による新しい街並みが続き、大学施設なども立地します。



## STEP 2

# 三好ってどんなまち？

子ども委員会は、三好町のことをもっとよく知るためにバスツアーに出發。町中を回りながら各地区や施設などの説明を聞いて目にする中で、これまでの総合計画でどんなことが実現してきたのか学びました。また特別養護老人ホーム「みよしの里」とJAあいち豊田「グリーンステーション三好」、東海学園大学では、各施設の職員から話を聞いて施設の中を見学。町内全域を見て回り「きたよし」「なかよし」「みなよし」の各地区のことを知ることので、子どもたちも地域を超えて交流しました。

## SCENE 1



町の農業や、農家の皆さんが丹精込めて作った特産品などが出荷され店頭にならぶ仕組みなどを学習。

JAあいち豊田「グリーンステーション三好」



## みなよし地区 (町南部)

のどかな田園風景やブドウ、カキなどの畑が広がる南部地区。町の財政を支えるトヨタ自動車の工場も立地。

南部の田園風景と工場



## 三好町豆知識

- ◎まちの位置  
愛知県のほぼ中央、名古屋市と豊田市の間
- ◎まちの大きさ  
総面積 32.11km<sup>2</sup> (南北10.3km、東西約5.2km)
- ◎人口と世帯数(平成20年10月1日現在)  
5万7,416人、2万1,355世帯
- ◎特産品  
カキ、ナシ、ブドウ
- ◎主な産業  
自動車関連工業、農業
- ◎町の主な特徴  
・日本一人口の多い町  
・カヌーのまち  
・彫刻のまち(町内に70体:マップ■印)



町内の各施設などに設置された彫刻



SCENE 2

東海学園大学

大学の役割や授業などについて説明を聞いた後、大学内の施設を見学して大学生活を体験。



三好池



なかよし地区(町中部)

役場をはじめ多くの公共施設や大型商業店舗、三好公園などがあり、多くの人でにぎわう中心市街地。町のシンボルの三好池や保田ヶ池では、カヌーレーシングやカヌーポールの試合が行われています。

SCENE 3

特別養護老人ホーム「みよしの里」

老後の生活や特別養護老人ホームの役割、入所者の生活などについて説明を受け、中を見学しながら質問。





# 理想のまちを考えてみよう！

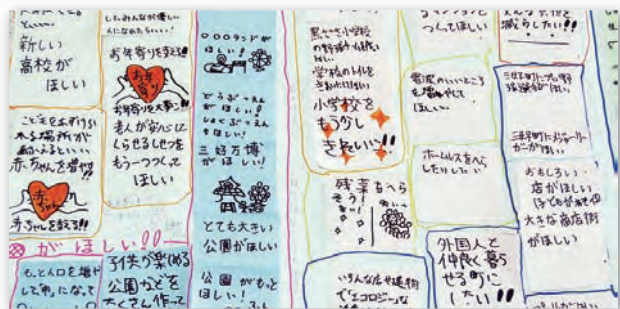
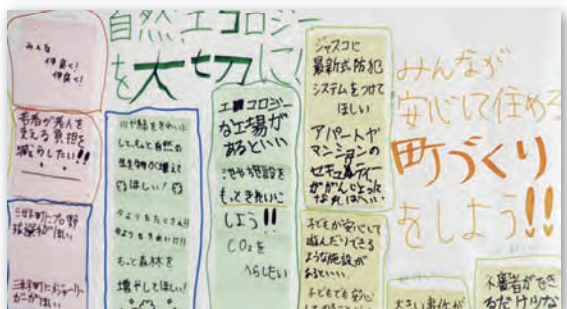
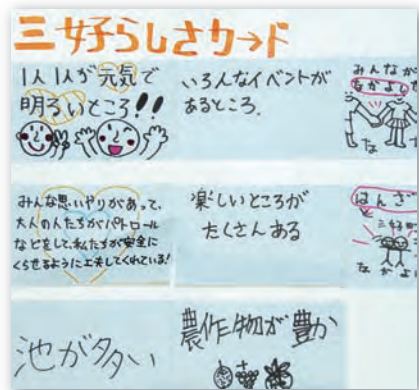
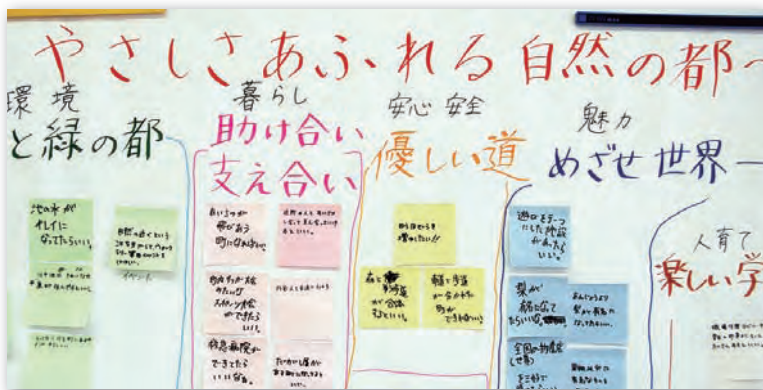


## 「夢プラン」をつくる

見学ツアーで町の現状を見て回った「子ども委員会」のメンバーは、今回の夢プランづくりで進行を務める「特定非営利活動法人あいちNPO市民ネットワークセンター」の皆さんと一緒にグループワークを行いました。

初めに、町の地図を使って自分の家や友達の家、ツアーで見学した場所などの位置を確認し、それらを結んで「つながりマップ」を作成。また町内のお気に入りの場所をメンバーで紹介するなどして、自分の周りと三好のまちとのかかり方を振り返りました。

次に4つのグループに分かれて、いよいよ夢プランづくりに挑戦。「三好らしさ」について考えながら、総合計画案の基本構想の6つの基本目標の中から「環境」「暮らし」「安全安心」「魅力」「子育て」の5つの項目について、「こんなまちにしたい」「こうしていきたい」といった自分の思いをそれぞれカードに書き出しました。最後にみんなの意見をまとめ、タイトルを付けて「夢プラン」ができあがりました。





# 夢プランを発表！

夢プラン発表会は、久野知英町長はじめ町職員も参加する中で開催されました。子ども委員会のメンバーは、各グループごとに自分たちの考えたまちの将来の姿を「言葉」にして堂々と発表。最後は町職員と夢プランの実現や町の取り組みなどについて対話をして、夢プランづくりを終えました。



## 「子ども委員会」の発表を聞いた職員からこんな感想が(抜粋)

- ・子どもたちの意見が今の社会の実状を言い表していると思いました。
- ・大人の意見とは異なることも多く、子どもの率直な声を聞くことができました。
- ・自然や環境(エコ)が多く取り上げられ、これからみんなで取り組んでいきたい。
- ・未来に向かって人にも自然にも優しくありたいという気持ちを感じました。
- ・小中学生らしい意見も多くあり、実施できそうな提案もありました。
- ・1つでも多く子どもたちの希望をかなえていかなければと感じました。

夢プランづくりを終えて、進行役を務めた新谷さんにお話を聞きました。



特定非営利活動法人 あいちNPO  
市民ネットワークセンター  
代表理事 しんたにちあき 新谷千晶さん

## 「みんなの言葉を生かしていきたい」

総合計画は、今後15年にわたり三好のまちをつくらせていく大事なのですが、わたし自身、総合計画がなかなか身近には感じられないと思うことがありました。それを少しでも身近なものにしようと、将来の三好の主人公になる子どもたちの言葉を取り入れて今回ダイジェスト版をつくるため、子ども委員会の「夢プラン」づくりを進めてきました。これまでの総合計画に基づいて実現してきたものや場所を子どもたちに見学してもらい、話を聞き、意見を出し合うことで、自分たちのまちがどうやってつくられていくのか知ってもらうことができましたと思います。

今回の取り組みでは、思った以上に子どもたちの本音を聞くことができました。また自分だけでなく、ほかの人の意見も聞いてプランをまとめた子どもたちの力にも驚きました。これからの三好の可能性が感じられたうれしい発見でした。

子ども委員会が考えた三好のまちの  
将来像「夢プラン」を簡単に紹介します。

# 皆さんなら、 どんなまちを描きますか？

PLAN

A



くぼ たますみ 久保田真澄君  
たけうちことの 竹内琴乃さん  
はらのぶあき 原伸明君  
おおたけ ひなこ 大竹陽奈子さん  
ひるかわ たつき 蛭川達基君

## 三好のつゆ

田舎でもなく都会でもない。のほほんとしていて、中途半端さ  
がいい。せかせかしていなくて、ゆとりがある。元気があふれる。

## 【環境】「水と緑と都」

街路樹がワッサワッサしていて、森が増えて虫がたくさんいる。  
魚が住めるきれいな川や池があり、町中に小さな小川が流れる。  
「水の都・三好」。身近な自然を生かしたイベントがある町。

## 【暮らし】「助け合い支えあい」

あいさつが飛び交い支え合っている、外国人とも交流できる  
町。町内サッカー大会のようなスポーツ大会がある。

## 【安心安全】「優しい道」

遊歩道を増やし、森と遊歩道を合体させ、車道と歩道を分ける。  
不審者がいない。事故がなく、事件や災害に強い町。

## 【魅力】「めざせ世界」

遊びをテーマにした施設や古い商店街がある。世界や全国の物  
産展を開く。三好にしかないお土産などPR。

## 【子育て】「楽しい学校」

自然を生かした授業や校外学習、職業体験など小中学生の行事  
を増やす。学校の運動場に遊具を増やす。

## ◎プランづくりを終えてー

知らない場所や施設がたくさんあり同じ町の中でもずいぶん  
違いがあると思いました。自分のことだけでなく人の意見  
を聞くことも大切。夢プランを実現して明るいまちにしたい。

PLAN

B



みくら よしき 三倉祥稀君  
にいみ あかね 新美茜さん  
かやしたりょう 栢下凌君  
おの だ やすこ 小野田泰子さん  
うちだ ようすけ 内田陽介君  
すずき さくらさん 鈴木さくらさん  
たけしげ たくみ 武重拓実君

## 三好のつゆ

みんな元気で明るく、仲が良く、思いやりがある。楽しい所  
やイベントが多い。犯罪が少なく、安全に暮らせる工夫を大人  
がしている。池が多くて農作物が豊か。

## 【環境】「自然エコロジーを大切に」

川や緑をきれいにして大きな緑を増やし、自然の生き物を増や  
す。ごみ拾いやリサイクルを進める。店や工場などをエコロジ  
ーにする。ビニール袋を有料化して地球温暖化を防止する。

## 【暮らし】「1000がほっこり」

農作物を守る。三好万博などを開催。子どもが楽しめる公園や  
野原、花畑がある。「市」にする。動物園や植物園がある。学校  
やトイレをきれいにする。残飯を減らす。ホームレスをなくす。

## 【安心安全】「みんなが安心して住める町づくりをしよう」

道幅を広げ、街灯やミラーを増やして音の出る信号機を付ける。  
公共施設を安心して遊べるようにする。最新の防犯システムを  
付ける。一人一人が気を付けて、地域のつながりを大切にす。

## 【魅力】「みんなで協力し合おう」

外国人も安心して仲良く暮らせる町にする。若者が老人を支え  
る負担を減らす仕組みをつくる。運動不足を解消できるジムや屋  
内プールがあり、行事をみんなでできる町にする。

## 【子育て】「お年寄りや赤ちゃんなどを支え合おう」

みんな仲良くして、お年寄りに優しい人になる。みんなが健康  
になれるプランをつくる。産婦人科や子どもを預けられる場所  
を増やす。みなよし地区に大学をつくる。

## ◎プランづくりを終えてー

町の良いところ悪いところを知って、三好町が身近になっ  
た気がします。以外に三好は不便でした。わたしたちの意見  
を取り入れると、もっと良いまちになるのかなと思います。

# テーマ「みんな仲良し三好町」





ひらのせいや 平野聖也君  
すずきのどか 鈴木温さん  
こんどうひろき 近藤大貴君  
わかづけいな 若月奎杏さん  
ふくたしゅうへい 福田修平君  
はやしま み 林真美さん

## テーマ「つながりで作るまち三好」

### 三好らしい

大きな三好池があつて力ヌーが盛ん。いろんな施設があつてイベントも多く、町民が交流できる場がある。緑がたくさんある。地域の人が集まるいいじやんまつりがある。

### 【環境】「環境を大切にすゑ」

家庭で電気の節約の呼び掛け、ごみゼロとリサイクルを進める。きたよし地区でも植樹し、自然をきれいにして水辺に生き物が住めるようにする。たぐさんの自然に触れ合える施設をつくる。

### 【暮らし】「豊かな福祉」

町全体で交流して外国人も住みやすくなる。ボランティアをしやすい工夫をする。子どもが使いやすい公共施設にする。お年寄りが元気になる娯楽施設をつくる。

### 【安心安全】「事故事件のない町づくり」

犯罪や事故、火災をなくし、不審者などを減らす。地域で話し合つて団結して活動し、災害時は助け合つて被害を防止。施設のユニバーサル化を進め、道路や歩道、危険な場所を整備する。

### 【魅力】「アピールできる三好の魅力」

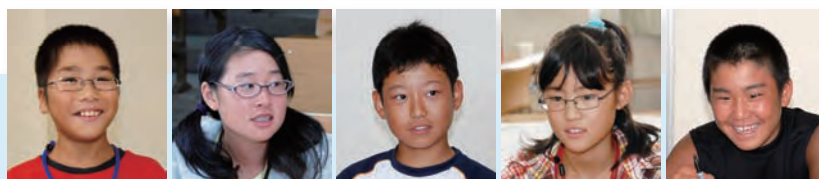
プールなどのスポーツ施設をつくる。工場や農業を増やして技術を発展。日本一人口が多い町を続ける。駅前を発展し三好をもつとPRする。

### 【子育て】「お年寄りや赤ちゃんなど人を支え合おう」

保育施設を増やす。学校交流をもつと増やして、地域行事にも参加して触れ合う。子どもの農業体験や職場見学などを増やす。環境についてみんなで話し合つ機会をつくる。

### ◎プランづくりを終えて一言

三好町は工業や農業などのバランスがいいと思いました。いろいろなことがつながつて三好ができていってほしいです。自分が大人になったら町の悪い所をなくしたい。



ふじおとだいき 藤音大輝君  
おがわ さき 小川紗季さん  
かみやしろう 神谷奨君  
しんしょうかすみ 新庄香澄さん  
すずきのぶたか 鈴木紳玄君

## テーマ「楽しさ広がるみんなの三好」

### 三好らしい

保田ヶ池で力ヌーがある。人が多くてたくさんの人と出会え、知らない人と触れ合う機会も多い。

### 【環境】「自然たっぷり三好」

林や花畑を増やす。ごみのポイ捨てをやめ、リサイクルステーションを増やしてエコロジーにする。川をきれいにしたり、池を増やしたりして、魚釣りなどをして自然の中で遊べる。

### 【暮らし】「便利な三好」

家の近くに電車の駅やスーパー・コンビニがほしい。大きな病院を増やす。運動施設をつくる。

### 【安心安全】「SOS三好」

警察署や交番を増やし、みんなで登下校時にパトロールをする。横断歩道や信号機をつける。ごほこの道を直す。

### 【魅力】「楽しい三好」

大きな公園や動物園、遊園地、楽しい公共施設があり、年中祭りや行事があるまちにする。みんなで遊べるお店などをつくる。

### 【子育て】「育てる三好」

学校を少人数にする。保育園や高校をもつと増やす。部活動の種類を増やす。土別市派遣などの交流を増やす。

### ◎プランづくりを終えて一言

みんなの意見を聞き別の見方ができました。三好は案外いまちだと思いました。思っていたほど田舎ではなかったです。今まで満足してたけど、少し欲張りになった気がします。

### 取材を終えて

今回の取材であらためて自分のまちについて見てみると、以外に知らないことが多いといつことに気付きました。今まで気にならなかつたことも、意識して見ることができると新たな発見があります。「子ども委員会」のみんながつくつた夢プランを見て、まずは自分のこととして自分なりに考えてみるこの大切さを感じました。